

磐城時報

石城郡内郷村磐城炭礦では五年といふ事になり、その旨磐城炭礦前から温泉湖湯に悩んでゐた湯礦に申し出たので會社では交渉本町大字湯本區民の懇請を入れを打ち切り従来通り無償で引湯に緩坑内に湧出してゐる百二十度應ずる事になつた。

磐城炭礦と湯本の引湯問題の交渉

結局從來の通り 無償で供給と決定

石城郡内郷村磐城炭礦では五年といふ事になり、その旨磐城炭礦前から温泉湖湯に悩んでゐた湯礦に申し出たので會社では交渉本町大字湯本區民の懇請を入れを打ち切り従来通り無償で引湯に緩坑内に湧出してゐる百二十度應ずる事になつた。

平町の小學卒業式

平町各小學校本年度卒業證書授與式並に卒業者数は左の通りで

第一小學校は卒業式廿四日 第一次午前九時、第二次午前十時、卒業生尋常科百七十名、高等科八十名

常磐の無産黨が縣議戦に進出

昨年十一月石城郡小名濱、玉は玉川村の小作争議、赤井村福川、泉の小作人五十余名が元地島炭礦の労働争議等あり今年に主である泉村阿部光俊氏に對し入つてからも福島炭礦の第二次小作料の不納決議を突付けたの労働争議、玉川、赤井村の小作を皮切りにその後石城郡地方に争議等最近相次いで争議が頻發

少年就職斡旋に汗ダクの平紹介所

關西方面まで手を延ばす

平町職業紹介所では小學校卒業無産黨大井川幸隆の七氏外數名を目前に控く少年少女の職業出陣する由。

計百四十七名に對し東京方面から男二十名、地元から男四十五名、女十名、合計七十五名の求人申込みがあつたので求職者の五割は悠々就職出来ることとなつたが、殘る七十余名の求人口開拓で係員も手摺り炭礦、官廳、會社等凡ゆる方面に手を伸ばして開拓に努める一方同所主任四家氏が東京中央事務局及び職紹各方面を奔走して東京、京阪、大阪等に求人口の開拓を爲すこととなつた。

平町高等女學校第十九回卒業式は十八日午前十時から舉行卒業生優等生、精勤者等に卒業證書賞状、賞品等を授與した後木村校長が卒業生一同に告辭をなした。次いで知事代理水谷社會課長の告辭、來賓伏見平町長の祝辭、在校生總代三年岡本テラさんの送辭、卒業生總代藤岡孝子さんの答辭あり式を閉じた。本年卒業生の優等生は左の六名である

磐城高女卒業式 水谷社會課長臨席

優等生は六名

平町高等女學校第十九回卒業式は十八日午前十時から舉行卒業生優等生、精勤者等に卒業證書賞状、賞品等を授與した後木村校長が卒業生一同に告辭をなした。次いで知事代理水谷社會課長の告辭、來賓伏見平町長の祝辭、在校生總代三年岡本テラさんの送辭、卒業生總代藤岡孝子さんの答辭あり式を閉じた。本年卒業生の優等生は左の六名である

時局演説會

石城郡上遠野村、入遠野村、玉川村の三村は今回農會廢止を決議した。

農會廢止決議

石城郡上遠野村、入遠野村、玉川村の三村は今回農會廢止を決議した。

度量講習會

協會石城支部では十九日午前十時から警察署で度量講習會を開く。

植田消防檢閲

郡植田警察署管内聯合消防檢閲は四月十九日同町八幡公園で執行する。

四倉署件數

四倉警察署に於ける二月分の取扱の件數左の如し

農會總代選舉

町農會總代人選舉は四月一日執行するが、有権者四百六十二名である。

月賦で買ったミシン 一回拂つて機械を匿す 横領で告訴さる

石城郡小名濱町字上横町西洋洗滌業森昇は昭和五年九月十二日平町一丁目シンガミシン會社から月賦の約束で百九十五圓のミシン一臺を購入したが、十五圓を支拂つたのみで機械を隠匿したので平支店石川平之助から平署に告訴された。

度重講習會

協會石城支部では十九日午前十時から警察署で度量講習會を開く。

植田消防檢閲

郡植田警察署管内聯合消防檢閲は四月十九日同町八幡公園で執行する。

四倉署件數

四倉警察署に於ける二月分の取扱の件數左の如し

平町人事 出生 一丁目岡島源市長女 死亡 一丁目岡島ユキ(一ツ) 相馬支局通信 原町春委競馬 有名人原町競馬は愈々四月三日かなる原町競馬は愈々四月三日かなる

